

令和6年度

事業報告

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

1. 総括

令和6年(2024年)は元日に能登半島地震が発生するという大変な幕開けとなりました。多くの犠牲者と甚大な被害が発生し、クラブとして会員にも呼びかけ義援金5万円を寄付しました。また、異常気象による猛暑、集中豪雨、そして、8月の終わりには、台風10号が発生し、知多半島を直撃するのではないかと思われましたが、進路が西に反れ、この地方では大きな被害はありませんでした。自然の恐ろしさをつくづく思い知らされる年でした。これを肝に銘じ、日頃から安全対策に心がけたいと思います。

また、6月2日に予定していた常滑市制70周年記念協賛事業・市民体験乗船会が、残念ながら天候不良のため中止となりました。来年は是非、天候に恵まれ、開催できればと思います。

一方、安全検査、シーズンインパーティー、安全訓練、釣り大会、ハーバー作業、ポイントレース、納会、広報活動など各委員会を中心に活発なクラブ活動が展開できました。これもひとえに各オーナー、クルーの方々のご協力のたまものであり、深く感謝申し上げます。

令和7年は、10年、20年先を見据え、新たなスタートの年にしたいと思います。

2. 会員の状況

オーナー代表者数 32人(32艇) ; 36艇係留可能(空きバース4)

■退会: 3艇 ①2/28 ARMAZ/久田さん、②3/1 MASAIII/原さん、
③11/24 はやぶさ/中村さん

■入会: 0艇

3. 事業報告

(1) 総務委員会

理事会主催:各運営課題の検討判断。活動スケジュールの随時確認判断

- 1/14 理事会:オーナー会議資料確認、他検討課題審議
- 1/21 役員会:オーナー会議資料確認
- 2/4 理事会:オーナー会議資料確認承認
- 3/3 オーナー会議/申請書類回収、オーナー会議資料配付
- 5/12 理事会:市民体験乗船会の実行計画検討
酷暑を避けて6/2開催とする。市長・体協会長乗船対応検討
- 6/23 理事会:体験乗船会(天候起因で中止)の反省と来年の課題共有
JSAFレース講習会の反省、今後の事業計画打合せ
- 8/25 理事会:安全訓練・ハーバー作業の計画確認。台風対策共有
アルバトロス⇒MOANA 艇の入れ替えとオーナー変更の承認
- 10/27 理事会:次期役員案の検討、ハーバー作業・納会の実行計画検討
新入会希望者情報の共有
- 11/24 理事会:次期役員案の検討、納会実施計画の確認

船台利用常態化対策の検討

- ・ 12/15 理事会:次期役員案の確認、入会希望者理事会面接(徳久さん)承認

【▲主な対応内容】

- ・ 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)発表対応/未経験案件への対応
オーナー会員への注意喚起と、常滑市及び鬼崎港周辺のハザードマップの共有
- ・ 台風10号対策/対策実施の徹底依頼
台風対策の実施依頼の発信、対策遅れ艇への架電による指示や対策実施
/対策内容と実施タイミングの共有徹底
- ・ オーナー急病による退会手続き遅れ対応/艇の所有権の代行者確認が必要
- ・ 船内トイレバルブ操作ミスによる半沈トラブル対応/艇の安全管理の再徹底
- ・ 船台利用の常態化対応/クラブ運営ルール遵守の再徹底

(2)ハーバー委員会

クラブ活動の本拠地であるハーバーの維持整備とその改善に向け、会員の協力を得て活動する

- ・ 3/24~4/28上下架作業(延べ66艇、大型船台利用艇19)
クラブでの上架艇増、大型船台利用者が増えたため期間を6週に延長
- ・ クレーン料金について
※3/24~4/28の期間内に利用したすべての艇で等分とした
※大型船台利用艇使用料は(5,000円/回)。高圧洗浄機使用料は今年度より無料とした
- ・ 6/23 ハーバー作業 :港内清掃、大型船台ネジ部、中型船台修繕等 30艇参加
倉庫内壁に道具整理のためのフックを設置
- ・ 11/24 ハーバー作業 :港内清掃、大型船台ネジ部、中型船台修繕等 33艇参加
(11/16に事前作業として高所作業車を使用してノコギリヤシの剪定作業実施)
- ・ 「上架期間は原則4カ月」が守られていない艇がある



(3) レース委員会

年間:6レース開催 延べ参加艇数:35艇(内オープン参加1艇)、運営5艇、延べ参加人員数:166名

例年以上に猛暑の夏であり、熱中症回避を重点にレース運営

7月ポイントレース:10時スタート後、風速が大幅に落ち、正午時点で熱中症リスク高まった為中断

8月野島レース:野島回航後内海沖で無風状況となり、猛暑となる前の8時にコース短縮

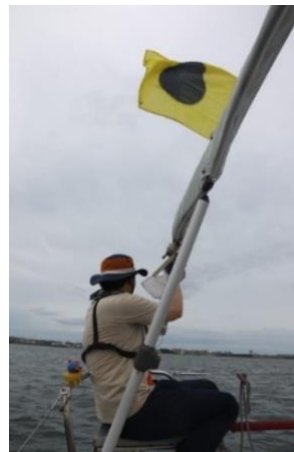
- 4/28 OYCポイントレース<鬼崎沖>9艇参加、運営1艇
- 6/16 OYC・YYCポイントレース<鬼崎沖>9艇参加、運営1艇
- 7/21 OYCポイントレース<鬼崎沖>8艇参加、運営1艇

熱中症予防のため、正午時点でレース中断

- 8/3-4 野島レース<伊勢湾>4艇参加、運営2艇内1艇はレース参加、コース短縮
- 9/15 OYC・YYCポイントレース<四日市沖>5艇参加、運営はYYC艇
- 10/20 OYCポイントレース<鬼崎沖> 強風のため中止

JSAF研修(レース講習会)

6/15、安全に楽しくヨットレースに参加できる知識を深めることを目的とし、JSAFルール委員会 日下部氏(東京都)、木内氏(藤沢市)を講師にお迎えし、クラブハウスにてレースルール基本講習/海上におけるスタート練習・コース練習/懇談会を実施。講習会25名、海上練習4艇が参加



(4) 安全委員会

- 4/7 自主安全検査(自主安全検査票配付・自主安全検査票確認)
- 7/4 安全訓練について海上保安庁・消防・警察へ依頼
- 9/8 安全訓練実施(93名参加)

陸上訓練

警察の安全講話、消防の救急法指導、サンドレッド訓練

海上訓練(21艇参加)

ライフジャケットのデモ、無線通信訓練、荒天帆走訓練、落水者救助訓練
 ※水難救済会から参加艇には燃料代 2000 円支給

- 11/3 安全委員会(出港届集計 総数 419 件受理 内訳 紙申請 133 件、電子申請 286 件)
- 12/1 納会時に出席届集計結果発表・表彰
- 通年 出港届管理、安全管理



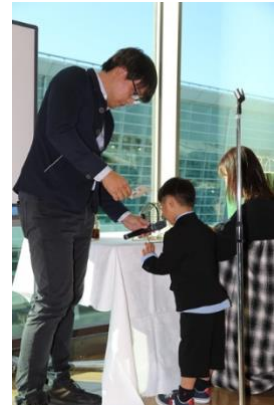
(5) 広報委員会

- ホームページ、Facebook 等で、継続的な情報発信
- 6/15 JSAF ルール委員会のレースルール講習会、模擬レース実施
講習25名 模擬レース 4艇
- 海上保安庁職員ヨット体験実施：7/11 4人、7/29 3人、8/20 6人
- 風向風速計、屋上風車ベアリング交換、しかしながら数値甘い状況継続
- 9/29 第25回釣り大会開催、6 艇参加
- 12/1 納会にて釣り大会結果発表、表彰
- 鬼崎ヨットクラブのドメイン管理: onizaki-yc.com (2025年3月2日まで)
- 通年 HP運営管理、ライブカメラ管理・運営、電子メールによる情報提供(ヨット関係団体、マスコミ、行政、関係各所)、各行事の写真撮影、記事作成



(6) 海事普及委員会

- 4/7 シーズンインパーティーを鬼崎フィッシャリーナで開催
47名参加で焼きそばを提供し親睦を図る
- 6/2 第38回鬼崎ヨットクラブ体験乗船会(常滑市制70周年記念事業協賛)は
悪天候(雷注意報発令)のため中止
- 12/1 納会 セントレアホテル/レストランコスモスで開催
参加者: 来賓4名、男性69名、女性24名、子供8名 合計105名



(7) OFC担当

- 4/17 第1回鬼崎フィッシャリーナクラブ役員会<OFC クラブハウス>
令和5年度収支報告・令和6年度年間スケジュール報告、OFC 活動・計画に各会より
報告があり共有化
(OYC より依頼事項)6/2体験乗船会(午前中)における参加者駐車場利用に際して
理解とご協力をお願いした
- 6/19 第2回鬼崎フィッシャリーナクラブ役員会<OFC クラブハウス>
OYC6/2体験乗船会は荒天のため中止の判断(80名の参加予定)
遊漁船:7/7釣り大会開催(約60名参加)
(市土木課報告)令和6年8月上旬~令和7年3月上旬の間
牡蠣養殖実証実験を実施/常滑樽水地区港入口北側/付近の航行注意

- 7/17 第3回鬼崎フィッシャリーナクラブ役員会懇親会開催<菊広>
- 10/16 第4回鬼崎フィッシャリーナクラブ役員会<OFC クラブハウス>

遊漁船:9/15ハーバー清掃実施

OYC:9/8安全訓練実施(約 100 名参加)、9/29 釣り大会(約 60 名参加)港内における風向、風速の参考にできるよう、西岸壁中央のガイドバーに港内吹き流しを仮設置する方向で進める(遊漁船 宮崎氏担当)

■納会会場点描



令和7～8年度役員(案)

(任期: 令和7年1月1日～令和8年12月31日)

★: 新任案です

役 職 名		氏 名	所 属
顧 問		下村 泰正 杉江 繁樹 相羽 助宣 ★梅原 啓三	常滑市体育協会会長 愛知県議会議員 常滑市議会議員 鬼崎ヨットクラブ前会長
理 事		氏 名	艇 名
会 長	OFC担当	★小林 茂	FORTE
副 会 長	OFC担当委員長	中村 人志	FORTE
副 会 長	総務委員長	★水野 泰三	白砂
理 事	海事普及委員長	★間瀬 元康	白砂
理 事	広報委員長	岩瀬 喜貞	Coo Coo Six
理 事	安全委員長	★山本 伸彦	ミストラルV
理 事	レース委員長	★柴田 智	QUERIDA
理 事	ハーバー委員長	★平野 祐二	ISE-V
理 事	会 計	村上 兼利	蓮真
※理 事	総務副委員長 (官公庁、OFC等担当)	★肥田 晃昌	FORTE
監 事		★永田 久雄	ぐらんめーる
副委員長			
総務副委員長		森田 圭一	The sense of Wonder
海事普及副委員長		加藤 大知	鯨 II
広報副委員長		宮地 美絵	Coo Coo Six
安全副委員長		★西尾 勤	せいりょうパラダイス
レース副委員長		★近 幸夫	BROWN SUGAR II
		★西村 公史	MOANA
ハーバー副委員長		加藤 尚司	鯨 II
		★脇田 竜也	SATAIII
		★村松 幸城	南遙

※肥田総務副委員長(官公庁、OFC等担当)は特例として理事とする。

- ・役員会開催について(案): 年1回⇒年2回開催とする
(副委員長・監事の運営検討参加機会を増やす)

令和7年度

事業計画(案)

(令和7年1月1日～令和7年12月31日)

1. 総括

令和7年は、新しい役員体制のもと、10年、20年先を見据え、新たなスタートの年にしたいと思います。クラブ員の高齢化に留意しながら、クラブハウスを活動拠点に「安全」をメインテーマとし、以下の基本方針を掲げ会員相互の親睦と相互扶助の精神の高揚を図り、自然環境に配慮し、存在感のあるクラブ運営を行います。

① 安全の確保

- ・ 地震、津波、感染症など突発的な事象に対しては、危機管理的な見地から最悪の事態を想定して対応する。
- ・ 毎年の台風などの自然災害に対して、より一層の安全な係留と出入港の安全を確保する。
- ・ 自主安全検査、安全訓練を強化するとともに、出港届の提出と安全航行の徹底を図る。

② 次世代の育成

- ・ オーナーやクルーの参加を積極的に進める。
- ・ クラブ会員の意見・要望を取り入れ、クラブ運営に反映させる。

③ クラブの存在の高揚

- ・ 常滑市、海上保安庁、OFC、市体育協会などの関係機関と連携を密にし、積極的に「市民の港」づくりに協力する。
- ・ 体験乗船等海事普及を通じて、地域社会に貢献する。

④ 親睦及び交流

- ・ クラブハウスの活用や各種イベント等により、クラブ員同志の親睦を図る。また、他クラブとの交流を積極的に行う。

⑤ 自然環境への配慮

- ・ 自然と共存したクラブ作りを進める。
- ・ 鬼崎フィッシャリーナの環境整備を図る。

⑥ 会員艇の確保

- ・ 令和6年1月では係留可能36艇中35艇、12月には32艇となった。
- ・ 安全な係留と円滑なクラブ運営のために、新規入会者を募集し、空きバースの解消に努める。

以上のことを実現するため、オーナー及びクルーは鬼崎ヨットクラブ会則を順守し、クラブの一員として自覚と責任を持って、活動に参加する。

2. 会員の状況

オーナー代表者数 33人(33艇)／36艇係留可能

■ 1月 アラマンダ／徳久さん 入会

3. 委員会事業計画

(1) 総務委員会

クラブの活性化を目標に、理事会・役員会を軸に活発に議論し、以下主課題を遂行していく

- ①諸行事の実行、②新役員体制での円滑な業務引継ぎ支援、③会員高齢化対策の継続的な実施、
④新入会員の育成、⑤新入会募集の継続、⑥トラブル等諸課題案件の解決と再発防止

- ・ オナー会議資料準備・運用管理
- ・ 経理会計管理(予算、決算、各種支払い)
- ・ 理事会主催:2~3カ月に一回開催ペースで、必要に応じて随時開催する
- ・ 役員会主催:年1回開催を年2回として副委員長メンバーの参画の場を増やす
- ・ OFC使用許可申請(用紙配付、回収、確認、訂正、提出)
- ・ オナー・会員名簿管理、船籍登録書管理
- ・ クラブハウス管理(備品、日直当番、浄化槽、台風対策、光熱費、図書等管理)
- ・ OYC行事出欠表の管理
- ・ JSAF外洋東海対応(会費納入、名簿提出)
- ・ 常滑市体育協会対応(活動計画報告、予算・決算、名簿)
- ・ 1/12 理事会:オナー会議資料確認、他検討課題審議
- ・ 1/19 新入会員への説明会(総務、会計、ハーバー)
- ・ 1/26 役員会:オナー会議資料確認
- ・ 2/2 理事会:オナー会議資料確認承認
- ・ 3/2 オナー会議/申請書類回収、オナー会議資料配付

(2) ハーバー委員会

クラブ活動の本拠地であるハーバーの維持整備とその改善に向け、会員の協力を得て活動する

- ・ 中型船台の更新
- ・ 3/23~4/20 上下架作業(天候・利用艇数により変更有)
あらかじめ作業手順書を作成し、各艇協力して安全にスムーズな作業に努める
船台使用後の清掃ゴミ処理、ハンゴ等の後片付けの徹底
- ・ 5月 大型船台ターンバックル補修(大型1後部縮小)(大型2後部ウレタン)(大型3中央下部補修)
- ・ 6/15 沈錘チェーンのセット準備作業(ポイントレース終了後)
- ・ 6/22 ハーバー作業 :港内清掃、大型船台ネジ部、中型船台修繕 等
沈錘チェーン取替え作業
- ・ 11/30 ハーバー作業 :港内清掃、大型船台ネジ部、中型船台修繕 等

【再徹底のお願い:船台の利用及び予約方法について】

陸置きが常態化している艇がある。ヨットは海上係留が基本ルールであり、船台置場は整備目的としての利用で市に申請しているので通年上架は禁止とし、上架期間は原則4カ月以内とする

- ・ 上架期間が予定を超える場合は、事前に理由と新たな下架期日でハーバー委員長の承認を得る
上架後、諸事情によって完了時期が見通せなくなった場合は、一旦下架し、工期を確定させて改めて上架申請をする
- ・ 作業予定日及び船台の種類をハーバー委員長に予約申し込み
※ハーバー委員会のホームページで予約状況を確認し、オナー会議で抽選決定
- ・ 船台使用届を提出する(クラブハウス内の書類入れ)
- ・ 指定期間以外の上架予定は各艇で相談しハーバー委員会に報告すること
また、クラブハウスに掲示の予定表に使用目的と期間を記入すること
- ・ クレーン料金について

- ※期間内に利用したすべての艇で等分する
- ※大型船台利用艇使用料は(5,000円/回)
- ・ 高圧洗浄機使用について
 - ※使用料は今年度も無料とする
- ・ その他
 - ※岸壁のチェーンは各艇で交換する（但しNo. 31～36はクラブ負担とする）

(3) レース委員会

より多くの方が参加できる楽しいレースの企画・運営をする

2025年度は下記方針でレース日程を設定(昨年度同様)

例年通り6レース開催で開催月3週目開催を基本とする

開催月は4月、6月、7月、8月、9月、10月とする

(5月エリカカップとの重複回避、11月強風リスクで開催月としない)

- ・ 4/27 OYCポイントレース<鬼崎沖>（上下架艇考慮し4週目開催）
- ・ 6/15 OYC・YYCポイントレース<鬼崎沖>(YYC と調整要)
- ・ 7/20 OYCポイントレース<鬼崎沖>(午後の開催を検討)
- ・ 8/2-3 野島レース<伊勢湾>(第3週はお盆に近いので1週目開催)

今年度は年間ポイントに含める様にルールを戻す

(風が無くなる前にゴールできるよう、スタート時間を検討)

- ・ 9/21 OYC・YYCポイントレース<四日市沖>(YYC と調整要)※1
- ・ 10/19 OYCポイントレース<鬼崎沖>(YYC と調整要)※1
- ・ 12/7 納会にてレース結果発表

※1 伊勢湾オープンレース開催9月開催の場合は、9月ポイントレース/鬼崎、
10月鬼四レース/四日市 の行事日程変更を行います。(春頃の OYC 理事会にて提案)

(4) 安全委員会

「艇長は出港届を提出してから出港する」ルールの徹底を図っていく。

- ・ 4/6 自主安全検査(自主安全検査票配付・自主安全検査実施)
- ・ 5/9 安全訓練について警察・消防・海上保安庁へ依頼
- ・ 9/7 安全訓練実施(AM:陸上訓練、PM:海上訓練)
- ・ 11/2 安全委員会(出港届集計)
- ・ 12/7 納会にて出港届集計結果発表
- ・ 通年 出港届管理、安全管理、日本水難救済会への参加(会員名簿提出)

(5) 広報委員会

- ・ ホームページ、Facebook 等で、継続的な情報発信
- ・ 2/8 海上保安庁による VHF AIS 講習会の実施
- ・ 第39回鬼崎ヨットクラブ体験乗船会 参加者募集マスコミ発表
- ・ 9/28 第26回釣り大会
- ・ 12/7 納会にて釣り大会結果発表
- ・ 鬼崎ヨットクラブのドメイン継続申請 onizaki-yc.com(2025年3月3日)
- ・ 通年 HP運営管理、ライブカメラ管理・運営、電子メールによる情報提供

(ヨット関係団体、マスコミ、行政、関係各所)、各行事の写真撮影、記事作成

(6) 海事普及委員会

- 4/6 シーズンインパーティー 会場: 鬼崎フィッシャリーナ
- 6/1 第39回鬼崎ヨットクラブ体験乗船会 会場: 鬼崎フィッシャリーナ
対象: 常滑市民、定員50名、時間帯: 午前中
- 12/7 納会 会場: 未定

(7) OFC担当

- 鬼崎フィッシャリーナクラブ(OFC)と協調し、港の環境整備を実施していく
- 鬼崎フィッシャリーナクラブ役員会への参加(年4回)
4/16(第1回)、6/18(第2回)、7/16(第3回)、10/15(第4回)
- 鬼崎港利用調整施設協議会(定例開催無し)への参加
- 港の環境整備、艇の安全航行に関して、市土木課との情報共有に務める



令和7年度

年間行事一覧表(案)

月	日	曜日	行事内容	集合時間	集合場所	会 場	担当 委員会
1	26	日	役員会	10:00	クラブハウス	同 左	総 務
2	2	日	理事会	10:00	クラブハウス	同 左	総 務
☆	3	日	オーナー会議	10:00	常滑市民交流センター	同 左	総 務
☆	4	6	自主安全検査 シーズンインパーティ	10:00 12:00	クラブハウス	各 艇	安 全 海 事
	27	日	OYCポイントレース	11:30	クラブハウス	鬼崎沖	レース
☆	6	1	第39回鬼崎ヨットクラブ 体験乗船会	9:00	クラブハウス	鬼崎沖	海事
	15	日	OYC・YYCポイントレース 沈鍾チェーン取替準備作業 (PM)	8:30 (14:00)	クラブハウス	鬼崎沖	レース
☆	22	日	ハーバー作業 沈鍾チェーンの取替作業	9:00	クラブハウス	クラブハウス フィッシャリーナ	ハーバー
	7	20	OYCポイントレース	13:00	クラブハウス	鬼崎沖	レース
	8	2 3	野島レース	13:00	クラブハウス	伊勢湾	レース
☆	9	7	安全訓練	8:30	クラブハウス	鬼崎沖	安全
	21	日	OYC・YYCポイントレース	7:30	クラブハウス	四日市沖	レース
	28	日	第26回釣り大会	12:30 計量	クラブハウス	鬼崎沖	広 報
	10	19	OYCポイントレース	8:30	クラブハウス	鬼崎沖	レース
☆	11	30	ハーバー作業	9:00	クラブハウス	クラブハウス フィッシャリーナ	ハーバー
☆	12	7	納会	12:30	未定	同 左	海事・ 全委員会
OFCスケジュール			OFC役員会 : 4/16(第1回) 、6/18(第2回) 、7/16(第3回) 、10/15(第4回)				

☆は、全艇が参加する行事(ペナルティー対象)

※レース開催日注意／第3日曜日以外あり

■令和6年度レース結果

OYCオリジナルレーティングにおける2024年度年間ポイントランキング

順位	艇名		4月	6月	7月	9月	10月	集計	捨てレース	最終集計
1	QUERIDA	順位 ポイント	1 10.25	1 10.25	0	1 10.25		30.75		30.75
2	FORTE	順位 ポイント	2 9	3 8	COM	2 9		26.00		26.00
3	BROWN SUGAR II	順位 ポイント	3 8	2 9		3 8		25.00		25.00
4	ISE-V	順位 ポイント	7 4	5 6		4 7		17.00		17.00
5	CooCoo Six	順位 ポイント	8 3	8 3		5 6		12.00		12.00
6	アルバトロスII	順位 ポイント	COM 8	7 4				12.00		12.00
7	蓮真	順位 ポイント	9 3	COM 8				11.00		11.00
8	白砂	順位 ポイント	6 5	6 5				10.00		10.00
9	ひねもすIV	順位 ポイント		4 7				7.00		7.00
10	Only You-2	順位 ポイント	4 7					7.00		7.00
11	Perky Peter	順位 ポイント	5 6					6.00		6.00
オープン参加	SATA III	順位 ポイント		DSQ 0				0.00		0.00
参加艇数			9	9	8	5	0	31		
参加人員			44	48	31	24	0	147		

順位	野島レース	
1	ISE-V	1 15
2	BROWN SUGAR II	2 13.5
3	蓮真	3 12
4	CooCoo Six	4 10.5
5	Only You-2	COM 8
参加艇数		4
参加人員		19

含むオープン参加、除くCOM

延べ出艇数	35
延べ人員数	166

ポイントレース(鬼四を含む) 得点

1位(10.25点) 2位(9点) 3位(8点) 以下1点ずつ減じ3点以上
DNF2点 OCS・失格・リタイア(スタート後)1点 DNS・それ以外は0点
コミッティー(COM)8点

野島レース

1位(15点) 2位(13.5点) 3位(12点) 以下1.5点ずつ減じ4.5点以上
DNF3点 OCS・失格・リタイア(スタート後)1.5点 DNS・それ以外は0点

コミッティは、

- 1艇参加の場合年度頭のくじ引きで決まった本部艇・リミット艇に関係なくレースに参加しない艇が本部艇をしてください。
- 2艇参加の場合年度頭のくじ引きで決まった本部艇がコミットしてください。
- 2艇不参加の場合同上

年間ポイントは、

- 1艇参加の場合本部艇を務めた艇に、8ポイント
- 2艇参加の場合レース成績のポイント
- 2艇不参加の場合本部艇を務めた艇に、8ポイント・リミット艇に、4.5ポイント

年間成績で、同点の場合はレーティングの厳しい方を上位にします。

(全レース共通)コミッティーを交代する場合、レース委員会に伝えて下さい。
連絡が無い時は当番艇が出場するためにチャーターしたものとみなします。

